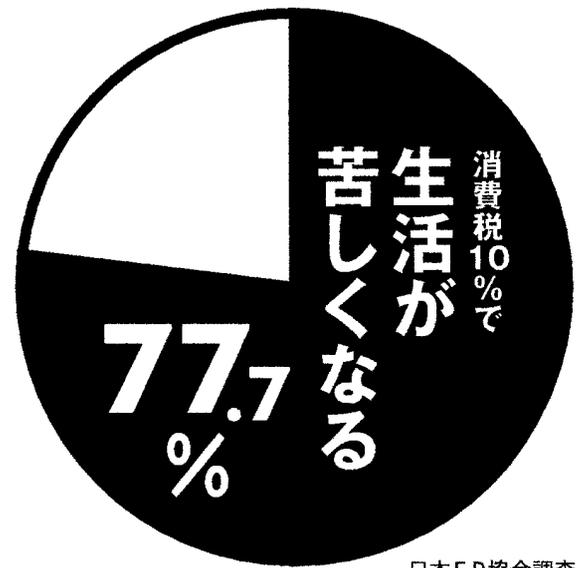


消費税10%

安倍政権がついに強行

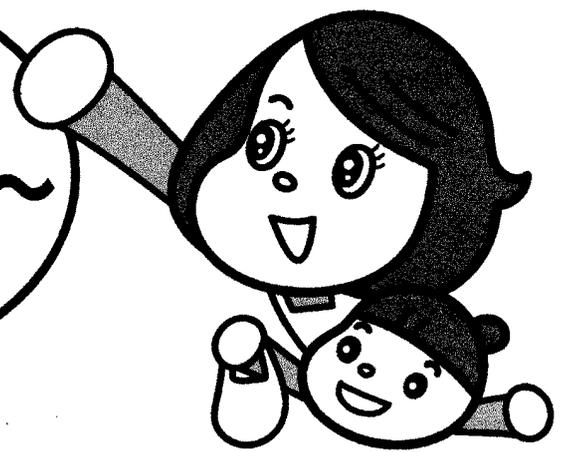
2014年の8%増税で家計消費は落ちこんだままなのに、
そのうえ今回の大増税で、国民の負担は総額13兆円にも。
このままでは、日本は破滅への道まっしぐらです。
国民が声をあげ、“消費増税ありき”の政治をやめさせましょう。



まずは

5%⇨8%⇨10%
“安倍大増税”
||
総額 13兆円

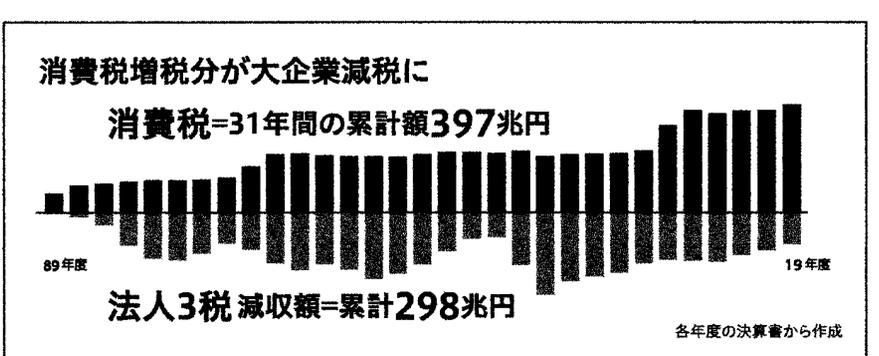
家計も経済も
ぶっ壊れる～
カンベンしてくれ!



5%にもどして景気回復を!

5%から8%への増税が景気悪化をつくりだしたのだから、いまやるべきは元の5%に減税することです。“安倍増税”をチャラにして、減税とくらし応援の政策にきりかえる。これこそ、国民が安心して働き、生活しながら、経済を成長させ、税収もふやす道です。
選挙で「10%中止」を公約した野党各党に消費税問題での共闘をよびかけます。

財源 大企業・富裕層の優遇をやめればつくれる
消費税を5%から10%にふやしても、介護も医療も福祉も悪くなるばかり。大企業・富裕層の減税に消えてきたからです。ここにメスをいれ財源つくります。



日本共産党

豊田民報



あいちトリエンナーレ 中止された「不自由展」6日に再開 日本共産党市議団 要望書を提出

国際芸術祭・あいちトリエンナーレ2019で中止された企画展「表現の不自由展・その後」をめぐる、不自由展の実行委員会が展示再開を求めた仮処分の審尋が9月30日、名古屋地裁で開かれ、中止前の状態で10月6〜8日に再開することで芸術祭実行委員会と和解しました。実行委員会からの提案に、不自由展側が受け入れる形で合意しました。(しんぶん赤旗10/1号より抜粋)

本みはる市議は、8月には市の文化振興課に、再開を求めるとの要請を行っていました。

【申し入れ文】国際芸術祭企画展での自由と民主主義を守るための申し入れ

日頃から、市民の学術・文化の向上にご尽力いただきありがとうございます。

愛知県で開催中の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」の企画展「表現の不自由展・その後」が政治的圧力や脅迫により中止に追い込まれた問題は、日本の民主主義の深刻な現状を見せつけられました。

同時に、「表現の自由」への抑圧とたたかい、展示の早期

消費税上げるな！ 宣伝行動

日本共産党豊田市委員会は9月28日、豊田市駅前消費税率10%に反対する宣伝を行い、11名が参加しました。(上写真)当日はラグビーワールドカップのため、通常より人通りが多く、多くの方にアピールできました。増税反対の署名への協力と、激励の声かけも頂きました。

再開を求める声も広がっています。中止された「表現の不自由展・その後」は愛知県の英断によって認められた企画展でしたが、外部からの脅迫と河村たかし名古屋市長の圧力によって中止に追い込まれました。本来ならば、暴力を許さない断固とした態度を示すべきであり、現在も「不自由展中止は検閲」だとして、出展者の辞退や作品の改変が続いています。

10月11日(金)午後3時
崇化館交流館
自治体キャラバン
事前学習会

福祉・医療・子育て支援充実を
愛知自治体キャラバン
2019愛知自治体キャラバンが、10月29日、豊田市に要請し、懇談を行います。

愛知自治体キャラバン
10月29日(火)午前9時30分
市役所東庁舎1階ロビー 集合
主催 愛知自治体キャラバン
実行委員会

安部9条改憲NO！ 安倍政権退陣 反戦・平和 豊田共同行動

日時 10月12日(土)
午後3時～集会・スタンディング
豊田市駅西デッキ上



昨年行われた集会の様相

主催 安倍9条改憲NO！豊田市民アクション

豊田民報9月29日号
記事の補足説明

豊田民報9月29日号の9月

議会報告に対し「わかりにくい」とのご意見が寄せられました。内容についての補足説明を以下のように掲載し、わかりやすい内容に努めていきます。

議案・決算承認案件に、日本共産党として賛成または反対とする理由を示し、賛否の判断を記載しています。(例：国保会計決算では、「高すぎる国保税が問題で、値下げが必要である」よって、この決算に「反対」)

暮らしの目線で 政治を変える、たしかな力

◆毎週土曜日 午前10時～12時
◆法律相談は弁護士、生活相談は市議会議員が相談にのります。

◆要予約。お申し込みは党市議会議員が日本共産党西三地区委員会まで
TEL0564-23-2785



本多のぶひろ
党市事務局長



根本みはる
豊田市議会議員

無料 法律・生活相談
おこなっています